

## 第5回石巻市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議議事録

■日 時 平成28年3月22日（火） 18時00分～21時00分

■会 場 庁舎6階 第1、2委員会室

■出席者 別紙のとおり

■会議内容

1 会議開催について

委員数19名に対して13名が出席しており会議は成立。

2 開会のあいさつ（会長）

3 会議の進め方について（復興政策課長補佐）

4 ワーキンググループ（2グループに分かれ、担当課より事業の概要、KPIの達成状況等を説明した後、質疑応答を実施）

グループ1：少子化対策・移住促進・地域交流分野

<質疑>

1 牡鹿地区市民バス運行事業

【委員】利用者は運賃を支払うのか？

【牡鹿地域振興課長】震災前は乗車距離に応じて200円から400円を支払っていたが、震災後は全区間100円で運行している。

【副会長】運賃収入はどうなるのか？

【牡鹿地域振興課長】事業費収入のその他に計上される。

【委員】スクールバスも運賃を支払うのか？

【牡鹿地域振興課長】スクールバスの運賃は無料。震災後、小学校を統合し、通学距離が伸びた児童もいる。また、復興事業関連の大型ダンプが多数走行していることもあり、児童の安全確保の観点からもスクールバスを運行している。

【委員】住民のニーズと合っていない部分というのは具体的にどのようなことか？

【牡鹿地域振興課長】運行の時間帯や便数等、利用者の意見を反映させて4月1日から変更する予定である。

【委員】ダイヤを変えるのはすぐにできるのか？

【牡鹿地域振興課長】許認可に関わらない部分についての変更なので、地区の配布物等で住民には周知を行っている。

【地域振興課長】市民バスは白ナンバーで運行しているため、市の交通会議で承認を受けることで、手続きも簡素化でき、柔軟な対応が可能となっている。

【副会長】民間事業者がやらないということは赤字部分があるということだと思うが、このまま継続していくのか？

【地域振興課長】今後も持続可能な制度とするためには、地域の負担と行政の負担のあり方について検討していく必要があると考えている。営業形態にとらわれない運行方法についても模索していきたい。

【委員】地区をまたいで運行する住民バスがうまく行っていない部分もある。

【地域振興課長】本来、住民バスは地区内の運行が原則となっている。震災後に交通手段が減少したこともあり運行範囲を拡大した経緯があるが、今後どうするかは検討が必要と考えている。

## 2 空き家活用・移住促進事業

【副会長】ソフトとハードは別々で補助が受けられるのか？

【復興政策課長】両方実施することが補助の要件となっている。

【副会長】事業のPRがもう少し必要だと思う。

【復興政策課長】28年度はコンシェルジュを設置し、窓口としてPRする予定である。

## 3 離半島部での買物支援事業

【委員】離半島部に住んでいる人はどのくらいいるのか？

【包括ケア推進室長補佐】当該事業は網地島の長渡地区で実施しているが、地区には173世帯267名が住んでいる。

【副会長】日常生活必需品の仕入れも婦人会が行っているのか？

【包括ケア推進室長補佐】日常生活必需品の大半は生鮮食品となっており、婦人会が注文をとりまとめて、市場に発注をしている。

【委員】婦人会も高齢化が顕著とのことだが、具体的な対策はあるのか？

【包括ケア推進室長補佐】会員の平均が70歳以上ということもあり、婦人会からは事業者に移動販売を再開して欲しいとの要望があるが、事業者が見つからないのが現状である。

【牡鹿地域振興課長】採算性の問題もあり、事業者を見つけるのが難しい状況である。島で活動するNPOにお願いできないか調整中である。

## 4 地域包括ケアシステムのサービス拠点設置事業

【委員】自主的な実施を目指すところがあるが、ここでも高齢化の問題があるのではないか？

【包括ケア推進室長補佐】網地島ほどではないが、そういった懸念もあるのが現状である。

## 5 特定不妊治療費助成事業

<質疑・意見なし>

## 6 子育て参加促進事業

【委員】イクメン講演会や父親向け育児講座等はとても良いと思う。中学校での教育事業も毎年学校を変えて実施して欲しい。

【地域協働課長】イクメン講演会等は来年度も実施する予定である。中学校での教育事業についても、各学校に来年度の意向調査を行っているところである。

【委員】校長が変わると方針が変わる場合もあるので、毎年継続して欲しい。

【委員】イクメン講演会については、市内の企業すべてを対象に実施して欲しい。

## 7 妊産婦相談事業

【委員】相談できる場所が増えたことはとても良いことだと思う。

【委員】助産師に相談できるのも良い。

## 8 オープンデータ構築推進事業

【委員】この事業はデータベースの構築が目的なのか？

【ICT 総合推進室長】データの公開がメインである。

【委員】データを活用するにあたっては、利用者は費用を支払う必要があるのか？

【ICT 総合推進室長】行政が保有するデータを公開するので、利用料は発生しない。

## 9 IT技術と漫画を活用した地域文化情報発信事業

<質疑・意見なし>

## 10 農林漁業担い手育成総合支援事業

【委員】震災後に雄勝でボランティアしていた若者が、就農するために石巻を離れてしまった。移住者を取り込むために、石巻の農業に特化した取り組みを考えるべきでは？

【副会長】それぞれの空き家事業が別々に実施されているような印象を受ける。

【復興政策課長】まずは市内の空き家を分類して、状況を把握する必要があると考えている。

## 11 農林漁業担い手育成事業

【委員】新規就農者への助成は毎年あるのか？

【農林課長補佐】1回限りとなっている。

【委員】農業は年間を通じて行うものであり、1年間で成果を出すのは難しい部分もあるので、助成を継続する必要があるのではないかと？

【委員】シェアハウスという形態が人気なのか？

【農林課長補佐】周りの人と相談しながら活動できるというメリットがある。

【水産課長】幅広い就業形態を考えると、自由度の高い居住形態が理想なのではないか。

【委員】農業従事者に対する具体的な支援や取り組みは？

【農林課長補佐】農業で生計を立てるのは難しい状況なので、何か良い方法がないか考えている。

## グループ2：農林水産・商工観光分野

<質疑>

## 12 創業支援事業

【委員】創業に関わることでお手伝いできることがあると考えている。創業数が6件であるが、創業支援事業計画を作成したすべてが補助金を活用しているのか。

【産業推進課長】創業支援事業計画を策定する際、金融機関も入った創業支援事業者連携会議で各種事業を盛り込んだ。今回6件の創業確定し、市の補助金を使ったところが2件であり、直接金融機関からの融資を受けた事業者もいる。

今回、地方創生交付金を使えることから、以前は補助率が3/4、限度額200万から平成27年度は補助率10/10、限度額300万とした。人気があるので平成28年度でも約10件程度申込みの予定がある。予算の範囲内での執行となるので、額や補助率については、連携会議でも検討していく。

【会長】創業だけでなく、会社として、10年、20年と居続けていてもらえるように、追跡調査のようなものはあるのか。

【産業推進課長】毎年度、5か年間は事業実績報告書をもらうとともに、経営相談を行いながら、創業者のカルテを作り、創業支援事業者連携会議で共有しつつ、次に創業したい方へ指導していくこととしている。

【委員】創業すると3年、5年持たないということも考えられるが。

【産業推進課長】きちんとした創業支援計画を立てていただいている。商工会議所、商工会も入ったところでプレゼンテーションをしてもらい、資金繰りが難しそうであれば、必ず補助の対象とならず落とすこともある。

【委員】創業支援の中で、市が資本金を入れることはできるのか。

【産業推進課長】基本的には、出資することについては難しいと考える。

### 13 創業支援・育成事業

<質疑・意見なし>

### 14 6次産業化・地産地消推進事業

【会長】新商品を開発したけれども、販路の拡大につながったとか、つながらないというようなフォローアップはどうなっているか。

【商工課長】事業推進するに当たり、一次産業者が独自に二次、三次とつながりを持つには難しいところもあるので、市で行っている六次産業化地産地消推進センターで支援を行っている。商品を発掘するとともに、二次産業、三次産業へとマッチングをしていく。その後のフォローも行っている。

【会長】一次、二次、三次の組み合わせについては、他市町村同士でもいいのか。

【商工課長】一次産業が市内事業者であれば、組み合わせは可能である。

### 15 漁船誘致及び原魚等確保助成事業

【会長】KPIの設定については、目標設定が難しいとの意見があったが、水揚げ量としては80%ほどまで回復、水揚げ高も99%まで来ている。積極的なKPIの設定もあってよいのではないかと。設定をトン数ではなく、船の入港数にしたらどうか。

【水産課長】それを予定するというのはかなり難しいと考える。また、福島より南の海域は不透明なところであるため、読めないところもある。

【委員】誘致に当たっては、船頭さんが石巻の市場とやり取りして交渉しているのか、どのように交渉しているか。

【水産課長】中に入っている海鮮問屋や握っているところがある。当市としては、地道に誠意をもって働きかけをしていくことが必要と考える。市長がトップセールスを行うと相手の対応がガラッと変わるところもある。

## 16 優良肉用牛生産振興対策事業

<質疑・意見なし>

## 17 全国和牛能力共進会宮城大会出品牛助成事業

<質疑・意見なし>

## 18 地域の宝研究開発事業

【委員】コシヒカリは十数年前は合わなかったが、気候の変化により5年ぐらい前から良いものが収穫できるようになってきた。いままでなかった野菜、果実等の栽培が進んでいるようであるが、石巻で栽培できなかつた物ができるようになった場合、どこに行けばその情報をもらうことができるのか。

【産業推進課長】基本的には、そのような相談は産業部にしていただければよい。情報を提供することができると思う。

## 19 農林水産物等輸出化販路拡大支援事業

【委員】牡鹿地区だと、ホヤを生産しても、韓国の輸入規制の関係で輸出が制限されているが、今後の見通しが分かれば教えてほしい。

【水産課長】ホヤは生産量の全体の7～8割程度を韓国へ輸出し、成り立っていたが、4年間育ててきて、商品として出せる状況になっている。復興庁等を通じて、働きかけを行ってもらっているが、諸外国の方針で輸入が制限されており、国内での新たな消費喚起、販路拡大を検討してほしいという旨の回答があった。

【会長】今後の可能性についてはどうか。

【水産課長】7/8の水産加工場の補助事業【国】を行っている。民間事業者にとっては、販路がないわけではない。ルートが開ければ、流通が活発になると考える。ホヤは嗜好性が強いので、可能性がある。

【会長】ハラル諸国への輸出についてはどうか。視野を広げてほしい。

【水産課長】輸出の販路拡大は、マレーシア、シンガポールや台湾等で行っているが、その次がハラル諸国と考えている。香港で今まさに、しめサバ、ブリなど中間原材料での出荷ができるように商談を行っている。徐々に拡大していきたいと考えている。

## 20 水産加工場生産性向上支援事業

【会長】水産加工場の業界全体でのPRや研修会等考えているのか。

【水産課長】この事業ではないが、高度衛生管理の意識向上が必要であると考え。全体として、意識を高めることが必要であり、個々の企業が取り組むことが必要と考える。

## 21 観光客誘致のための記念事業

【委員】ラッピングバスは、このまま継続するのか。新しいものを作るのか。

【観光課長】3年間はこのままで続ける。現在は2台であり、観光地、石巻の食をモチーフにしたものである。

【委員】作成費は発生するのか。

【観光課長】平成28年度は発生しない。いわゆる広告料の扱いである。

【会長】仙石東北ラインが開通し、石巻駅長の話でも観光客が増加しているとのことであるので、統計的なデータの把握を続けてもらいたい。

## 22 自然環境を活かした観光促進事業

【会長】潮風トレイルはまだ名称が認知されていないので、PRしてほしい。

【観光課長】国立公園に編入されたことから、石巻の奥【牡鹿地区】まで来ていただき、長く滞在していただくように、潮風トレイルを使い、もっとPRしていくことが必要と考える。

【委員】「トレイル」の意味は。

【観光課長】「歩いて旅をしながら、地域の自然や文化を感じる小道」である。

## 23 外国語観光パンフレット作成事業

【会長】英語、韓国語、中国語2種の計4種類となっているが、石巻市との関係性から、イタリア語【チビタベッキア】の作成については検討しているか。

【観光課長】イタリア語についても検討したが、まずは、この4か国語のみとしたい。

【会長】田代の猫など、まだまだ周知されていない。これを踏まえて、石巻地域にいる外国の方を集めて、情報を必要としている人の目線に立つことが必要だと思う。

【観光課長】承知した。

【委員】パンフレットを配ったとあるが、これをきっかけに石巻に来ていただければ、一番良いと思うが、例えば川開きの花火で良い席を用意してあげるとかの特典はあるのか。

【観光課長】特に考えていなかったが、貴重な意見として今後参考としたい。

## 5 全体会議【会長、副会長が報告】

<質疑>

【委員】世界一の魚市場が完成したとのことであるが、何が世界一であるのか教えてほしい。自分が周りにPRする際、知っておきたいので。

【水産課長】水揚げ棟の直線距離が880Mであり、これが世界一となっている。ギネスへの申請をしているが、まだ認定されていない。

【委員】特定不妊治療費助成事業について、この助成を受け、どれくらいの方が妊娠されたのか。

【健康推進課長】本年度開始の事業であることからまだ、実績がわからない。

【委員】実績がでなければ、助成回数を増やすなどの検討していただきたい。

【健康推進課長】県の方でも回数を増やすこととしていることから、市でも今後検討していきたい。

【委員】自分は3人の子供がいるが、一人目は15万近く一部負担がかかった。二人目、三人目は古川で出産させたが、5万弱の負担であった。石巻市と大崎市の産婦人科での待遇が違った。医療機関の意識改革が必要だと思う。

【会長】直接今回の事業に関連しないが、ここで産みたいと思えるような地域にしていきたい。

【委員】観光パンフレットを作っても、泊まる場所が市内に少ない。多くしてほしい。

【会長】震災後、宿泊可能人数は倍に増えている。多くは震災復興で来ている人が泊まれる施設を含めてであるが、問題は、エリアが集中しているので、雄勝や北上などで民宿等が減っているので、増やしていけるようにしていきたい。

### **プレミアム付商品券発行事業及びふるさと名物商品事業**

【商工課長説明】

<質疑・意見なし>

## **6 その他**

地方創生加速化交付金の説明【復興政策課長】

今後のスケジュール【復興政策課長補佐】

## **7 閉会のあいさつ【副会長】**

石巻市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議委員出欠名簿

(平成27年9月30日現在)

| No. | 氏名                  | 所属                      | 備考           |
|-----|---------------------|-------------------------|--------------|
| 1   | あい 曾 田 まさし 正        | 七十七銀行石巻支店               | 出席 (代理: 木村様) |
| 2   | あ 安 住 えい 栄 いち 一     | 牡鹿地区住民代表                | 出席           |
| 3   | あ 阿 部 きよこ 紀代子       | コンパクトシティいしのまき・街なか創生協議会  | 出席 副会長       |
| 4   | あ 阿 部 みやこ 都         | いしのまき農業協同組合             | 欠            |
| 5   | あら 荒 木 ひろ 裕 み 美     | 特定非営利活動法人ベビースマイル石巻      | 出席           |
| 6   | おお おお 大 なみ 浪 しげる 茂  | 河北地区住民代表                | 出席           |
| 7   | き 木 むら 村 みほ 美保子 こ 子 | いしのまきNPOセンター            | 欠            |
| 8   | ご 後 とう 藤 むね 宗 のり 徳  | 石巻観光協会                  | 出席 会長        |
| 9   | さい 西 じょう 条 たく 拓 や 也 | いしのまき農業協同組合             | 出席           |
| 10  | さ 佐 とう 藤 せい 清 こ 子   | 河南地区住民代表                | 出席           |
| 11  | さ 佐 とう 藤 なお 尚 み 美   | 北上地区住民代表                | 出席           |
| 12  | しな の 品 野 こういちろう 光一郎 | 宮城県漁業協同組合               | 欠            |
| 13  | しょう 庄 じ 子 ま 真 き 岐   | 石巻専修大学                  | 欠            |
| 14  | だい 大 こく 黒 まさ 雅 ひろ 弘 | 日本労働組合総連合会宮城県連合会石巻地域協議会 | 欠            |
| 15  | たか 高 はし 橋 まゆ 真由 み 美 | 雄勝地区住民代表                | 出席           |
| 16  | なか がわ 中 川 なお 尚 のり 仙 | 石巻商工会議所                 | 出席           |
| 17  | なが 永 さわ 澤 さだ 貞 よ 代  | 桃生地区住民代表                | 欠            |
| 18  | は 芳 が 賀 のぶ 信 ゆき 幸   | 石巻市地域包括ケア推進協議会          | 出席           |
| 19  | み 三 うら 浦 と とき え 工   | 石巻市地域婦人団体連絡協議会          | 出席           |

(氏名の五十音順、敬称略)